

おもてなし

「おもてなしの心日本一」を実現するための組織「おもてなし柳川」市民会議が活動を始めました。

「おもてなし柳川」市民会議 新年度事業を決定

市民を挙げて「おもてなしの心日本一」の柳川を実現するために昨年度発足した「おもてなし柳川」市民会議（会長 金子健次市長）の今年度初めての会合が5月1日、市民会館で開催され

ました。

各市民団体などから39人が出席して開かれた会議では、平成25年度事業の振り返りや26年度事業計画、予算などを話し合いました。25年度は、「春のおもてなしキャンペーン」連携事業として、市と道守柳川ネットワークの「堀と道クローンアップ大作戦」や柳川雛

西鉄電車を利用する観光客へ 第3回おもてなしの心大作戦



▲柳川駅に到着する特急電車乗客に手を振る参加者

西鉄柳川駅の「おもてなしの心大作戦」が5月5日、駅周辺で行われ、午前中に同駅に到着する特急の下り電車に手を振るなどして観光客を出迎えました。ゴールデンウィーク期間中に西鉄電車を使って柳川へ観光で訪れる人をもてなそうと企画したもので、今年で3回目。市内約80の各種団体から約300人が集まりました。

参加者は、到着する電車の乗客に向かって、手やポンポンなどを振って歓迎。駅出口では、地元の高校生がアイドルグループのヒット曲などに合わせてダンスをするなどしてお出迎え。観光客は、突然のもてなしに笑顔で見入っていました。



▲今年度の事業内容を協議した「おもてなし柳川」市民会議

祭り実行委員会の「さげもんミニフェスタ」などの取り組みなどが紹介されました。また、豊原小学校が児童や保護者に呼び掛けて募集した「おもてなし柳川」44句の紹介も行われました。

今年度は、統一ロゴとキャッチコピーの企画や製作、のぼり旗やバッチ、ジャンパーなどの啓発グッズの製作、秋に「おもてなし推進大会」の開催、おもてなしフェイスブックの作成など430万円の予算を承認。各種団体と連携しながら、オール柳川で「おもてなしの心日本一」の実現に向けて事業を進めていきます。

「おもてなし柳川」市民会議についての問い合わせは、市観光課おもてなし推進係（☎77・8564）まで。



▲4月30日、金子市長に「おもてなしお茶処」の取り組みを報告する沖端女性の会の皆さん。「おもてなしの輪が広がっています」と会長の森田精子さん（左から2番目）

**柳川雛祭り期間中
100人以上をおもてなし**
沖端女性の会が柳川雛祭り期間中に行った「沖端おもてなしお茶処」でのおもてなしには、1000人を超える来場者から喜ばれました。
お茶処は、2月11日から4月3日までの祭り期間中の土日の16日間、稲荷町の会員宅駐車場にテントを張り、会員が交代で訪れた観光客にお茶のサービスや自作の漬物などを振る舞いました。また、来場者には抽選で、ドンコ舟で川下りを楽しむ姿を折った折紙細工をプレゼント。
お茶処を訪れ、芳名帳に名前を記載した人は774人。国内はもとより海外からの来場者の名前も記載されています。

「川下り」「さげもん」「白秋」をテーマに製作

観光ポスター3種が完成

市は合併後初めて、3種類の柳川観光ポスター各1000部とポスターを拡大した自立スクリーン3セット、観光手揚げ袋1000袋を製作しました。

国内外の人たちに、「柳川に行ってみよう」と思わせるきっかけづくりとなるよう、観光柳川の原点である「川下り」「さげもん」「白秋」をテーマに、3種のポスターを製作。柳川に暮らす人々が、

柳川弁で「ふと思いついたら、おいでませ」と語りかける物語性のあるデザインとなつていきます。

「川下り」のポスターは、掘割の花嫁舟に観光客が手を振る構図で、色鮮やかな緑が印象的。市内や福岡都市圏などから約100人が参加して撮影されたものです。「白秋」のポスターは、白地に黒の書のみというシンプルで大胆



表 裏

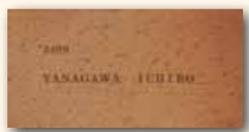
新しく製作された3種類の観光ポスターと手揚げ袋。手揚げ袋は「川下り」のデザインを使用しています



駅前広場レンガ 募集再開

募集を延期していた、来年3月に完成予定の西鉄柳川駅前広場に敷き詰める「刻印レンガ」の募集を再開します。

- 募集期間 6月2日（月）～7月31日（木）
- 募集個数 先着 5000個
- 参加費 1個 1500円。ただし、同一の刻印の複数申し込みや、申し込み後の返金不可
- 刻印内容 参加者の受付番号と名前を刻印します。個人の名前のみで、大文字のローマ字で刻み、「-（ハイフン）」「・（中点）」は刻印できません。22文字以内であれば複数名の刻印も可。文字数によっては行数が増えることもあります。
- 申込方法 市役所各庁舎や市立公民館、西鉄柳川などにあるチラシの郵便払込取扱票に必要事項を記入。切り取って、参加費を添えて最寄りの郵便局で払込みください。払込み手数料は無料。後日、受付証を郵送しますので、大切に保管してください。



「刻印レンガ」のイメージ

【問】市まちづくり課（☎77・8552）

な構図。「白秋」の名前を大きく出し、幅広い世代で今も歌い継がれている北原白秋作詞の「からたちの花」の歌詞を掲載しています。「さげもん」のポスターは、歴史的建造物である武家住宅、旧戸島家住宅を舞台に、おひな様のお祝いを喜ぶ女の子を撮影しています。3種類とも柳川を代表する風景を題材とし、緑、白、赤色の3連作として構成されています。

デザイナーは、昨年「久留米物語」6連作で、全国観光ポスターコンクール観光庁長官賞を受賞した高山美佳さん

77・8564）まで。